



発表項目 (行事名)	第6回 ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道内の集落では、人口減少や高齢化の進行などに伴い、コミュニティ機能の低下など、様々な問題の深刻化が懸念されています。集落で安心して暮らし続けるために必要なことを、集落にお住まいの方々と、集落に力を貸してくれる様々な方々が一緒に考え、情報交換や親交を深めるため、次のとおり交流大会を開催します。</p> <p>1 日時 令和2年(2020年)1月30日(木)・31日(金)</p> <p>2 会場 TKP札幌駅カンファレンスセンター(札幌市北区北7条西2丁目9)</p> <p>3 プログラム(別紙チラシのとおり) ◆30日(木):基調講演、事例発表・パネルディスカッション、交流会 ◆31日(金):分科会(①移住 ②女性 ③若者)、ふるさとづくり相談会</p> <p>4 参加対象等 定員100名 どなたでも無料で参加できます。(1日目の交流会のみ、会費制(3,500円))</p> <p>5 申し込み方法等 添付のチラシに必要事項を記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。メールでお申し込みの場合は、必要事項をメール本文に記載してください。大会前日まで申込を受け付けます。</p> <p>6 大会ホームページ http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/shuuraku/kouryutaiikai01.htm</p>		
参考	<p>○ 1日目は、株式会社kedamaの武田昌大氏に「heat up ~+1℃する地域活性化～」と題して講演いただくほか、道内で積極的に集落対策に取り組んでいる団体による事例発表を行います。</p> <p>○ 2日目は、①移住、②女性、③若者の3つのテーマで分科会を行った後、集落の課題について有識者に相談できる相談会を開催します。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>道内各地域で集落対策や地域づくりに取り組む方々が一堂に会する大会です(昨年度は両日延べ約170名参加)。本年度も多くの方にご参加いただき、集落対策が促進されるよう、積極的な情報発信をお願いいたします。</p> <p>また、当日の取材もよろしくお願いいたします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所) 道政記者クラブ、各総合振興局、振興局記者クラブ	
担当 (連絡先)	<p>総合政策部 地域振興局 地域政策課 地域活力G (担当:高橋・高江洲) TEL 011-204-5791(ダイヤルイン)(内線23-458)</p> <p>留萌振興局地域創生部地域政策課 (担当:山中・沼田) TEL 0164-42-8420(ダイヤルイン)(内線2150・2187)</p>		

第6回

ほっかいどう

元気なふるさとづくり交流大会

～地域の魅力を活かす集“楽”づくり～

入場
無料

定員
100名

令和2年 1月30日 木・31日 金

TKP札幌駅カンファレンスセンター (札幌市北区北7条西2丁目9)

主催:北海道

13:30～15:00 基調講演 (3階カンファレンスルーム3B)

講師

武田 昌大 氏 (株式会社 kedama 代表取締役)

heat up ～ +1℃する地域活性化 ～

1985年、秋田県生まれ。少子高齢化・人口減少率日本一の秋田の活性化をミッションとし、2011年、株式会社kedamaを起業。秋田の農業の未来に危機感を持ち、若手米農家集団トヲ男を結成し、お米のネット販売サイトを運営。2015年には、クラウドファンディングで約600万円の資金を調達し、茅ぶき古民家を活用した新ビジネス「シェアビレッジ」を立ち上げる。2017年には、東京都中央区日本橋におむすびスタンドANDONをオープン。人口減少の進む地方に必要な都市の人々を巻き込む仕組づくりを行い、交流イベントの開催で地方と都市を結ぶ新しい田舎づくりを実践し、広告費をかけない話題づくりになるコンテンツ制作も得意とする。



15:15～17:15 事例発表 パネルディスカッション (3階カンファレンスルーム3B)



立川 彰 氏 (株式会社 道東テレビ 取締役)

「あなた輝くまちテレビ 道東テレビの挑戦」

静岡県出身。2016年、津別町に地域おこし協力隊として移住。インターネットテレビ局の株式会社道東テレビを立ち上げ、町民が自分たちのまちについて語り合う番組作りに取り組み、町のホームページから広報番組も毎月配信。津別町への移住定住促進に向け、コワーキングスペースやカフェバー、シェアハウスなど、空き家を利活用した関係人口創出の場作りも担当。



山形 巧哉 氏 (ハウモリ 代表)

「森町で40年暮らしてみた」

北海道森町生まれ。地元の高校を卒業後、森町役場へ入庁し、現在は情報システムを担当。クリエイター・コンプレックス ハウモリを主宰し、街を「いい感じにする」ことをライフワークとしている。想像し創造することが大好き。内閣官房オープンデータ伝道師/総務省地域情報化アドバイザー。



松本 武 氏 (北見市 商工観光部 工業振興課 工業係 係長)

「テレワークで地方への人材回帰を実現! 『サケ(鮭)モデルプロジェクト』」

地元志向の強い北見工業大学の学生を、首都圏のIT企業本社で採用し育て、北見進出時の人材として、地元に戻りテレワークで働くモデルを市として推進。また、Uターンが見込める地元出身の大学生を対象に、ふるさとインターンシップなどを展開。テレワークの拠点を中心商店街に整備し、首都圏の人と仕事の誘引による地域経済活性化に取り組む。

コーディネーター



石塚 雅明 氏 (株式会社 石塚計画デザイン事務所 顧問)

北海道大学大学院工学研究科修了後、柳田石塚建築計画事務所を設立し、2002年に株式会社石塚計画デザイン事務所代表取締役、2017年には同社顧問に就任。まちづくりプランナーとして、地区の構想や計画の策定、地域コミュニティの形成サポート等を行うほか、まちづくりに関わる住民や行政職員向けの研修会も数多く実施。

17:30～19:00 交流会 (3階カンファレンスルーム3C) 会費3,500円 (立食形式)

30
日

9:00~10:50 分科会 (2階 カンファレンスルーム2F, 2H, 2I)

○分科会発表者から取組発表後、参加者全員で意見交換を行います。傍聴のみの参加もできます。

分科会① (移住)

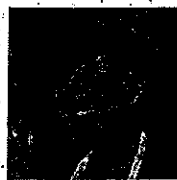


川村 昌代 氏 (NPO法人 上士幌コンシェルジュ かみしほろ暮らし担当マネージャー)

Uターンで上士幌町へ戻り、平成23年から勤務。生活体験モニター事業を通じた移住定住の窓口を担当し、9年目になる。体験モニター住宅は10棟あり、その管理運営を町と協力しながら一人で行っている。『誕生会(夕食持ち寄り会)』や『楽楽市(フリーマーケット)』を移住者の人たちと開催するなど、町が元気になる活動に取り組む。

- ・ファシリテーター：石塚 雅明 氏 (株式会社 石塚計画デザイン事務所 顧問)
- ・アドバイザー：杉岡 直人 氏 (北星学園大学 社会福祉学部 教授)

分科会② (女性)



堀田 悠希 氏 (株式会社at LOCAL 代表取締役)

結婚を期に上士幌町へ移住・就農。お客様に身近な農家の仕組みづくりや農園の解放、マルシェを通して、農家としての在り方を模索。道の駅リニューアルオープンに合わせ、2017年に株式会社at LOCALを設立し、飲食事業を中心に、全体の企画や商品開発を行う。町民と協力し「上幌らしさ」が伝わる道の駅を日々創り続け、地域でできることを少しずつ実現。

- ・ファシリテーター：松村 博文 氏 ((地独)北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 副所長)
- ・アドバイザー：井上 誠司 氏 (酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授)

分科会③ (若者)



村下 知宏 氏 (株式会社 ユートライン 代表取締役)

1987年、浦河町生まれ。大学卒業後、東京都奥多摩町における地域づくり活動、地域づくりコンサルティング会社勤務を経て、浦河町にUターン。2013年に株式会社ユートラインを立ち上げ、地域、行政、都市を繋げる事業を展開。地域おこし協力隊の受入体制サポートや、地域内の団体・事業者の活動支援などに取り組む。

- ・ファシリテーター：原 文宏 氏 ((一社)北海道開発技術センター 地域政策研究所 所長)
- ・アドバイザー：鈴木 聡士 氏 (北海学園大学 工学部 生命工学科 教授)

	ファシリテーター	アドバイザー
① 移住	石塚 雅明 氏 (株式会社 石塚計画デザイン事務所 顧問) まちづくりファシリテーターとして、地区の町づくり計画の策定、地域活性化に向けた取り組み等をサポート。まちづくりにおける住民の行政機関向けの研修会も数多く実施。	杉岡 直人 氏 (北星学園大学 社会福祉学部 教授) NPOAの申し付けを要する日本初のNPO(北海道NPO)以外の組織も担当。NPO担当北海道会館の立ち上げの時から、様々なNPOの活動のあり方問題の研究などに取り組む。
② 女性	松村 博文 氏 (地独)北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 副所長 公営住宅を活かしたまちづくりや住み替えの促進、空き家を活用した集住化の取組や地域コミュニティの活性化に向けた手法の開発などに専門的な知見を有する。	井上 誠司 氏 (酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授) 北海道における農業の担い手、農地利用の動向や限界地における地域農業対応などに関する専門的な知見を有する。また、酪農・畜産地帯における支援システム導入などの研究を行う。
③ 若者	原 文宏 氏 (一社)北海道開発技術センター 地域政策研究所 所長 自宅から目的地までのモビリティ、アクティビティに関する道徳が深く、実際に交通手段の確保が困難となっている地域で課題解決に取り組むなど、地域交通に関する専門的な知見を有する。	鈴木 聡士 氏 (北海学園大学 工学部 生命工学科 教授) 自治体における地域公共交通の持続性に関する知見、地域に根ざした生活交通確保のあり方に関するなど、地域交通に関する専門的な知見を有する。

11:00~12:00 ふるさとづくり相談会 (2階 カンファレンスルーム2H)

○分科会のファシリテーター及びアドバイザーによる相談会を行います。

- 【相談員】
- ・石塚 雅明 氏 (株式会社 石塚計画デザイン事務所 顧問)
 - ・鈴木 聡士 氏 (北海学園大学 工学部 生命工学科 教授)
 - ・松村 博文 氏 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 副所長)

◆参加申込書 (参加するプログラムにチェック)

年 月 日

○必要事項を記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。

○メールでのお申し込みの場合は、必要事項をメール本文に記載してお送りください。

申込締切：令和2年（2020年）1月23日（木）必着

1日目 (30日)	<input type="checkbox"/> 基調講演 <input type="checkbox"/> 事例発表 パネルディスカッション <input type="checkbox"/> 交流会 (会費：3,500円)
2日目 (31日)	<input type="checkbox"/> 分科会 (①移住 ・ ②女性 ・ ③若者) 第1希望【 】 第2希望【 】 <input type="checkbox"/> 傍聴のみ ※ 申込み状況により第2希望とさせていただきます。 ※ 参加者全員で意見交換を行います。傍聴のみの参加もできます。傍聴のみを希望される方は、チェックを記入してください。 <input type="checkbox"/> ふるさとづくり相談会 相談したい集落の悩み事等がありましたらお書きください。 希望の相談員がいましたら、併せて記入してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 希望の相談員 _____ 氏 </div>
氏名：	所属：
電話：	E-mail：

お申し込み・問い合わせ先

北海道 総合政策部 地域振興局 地域政策課 地域活力グループ 担当：高江洲

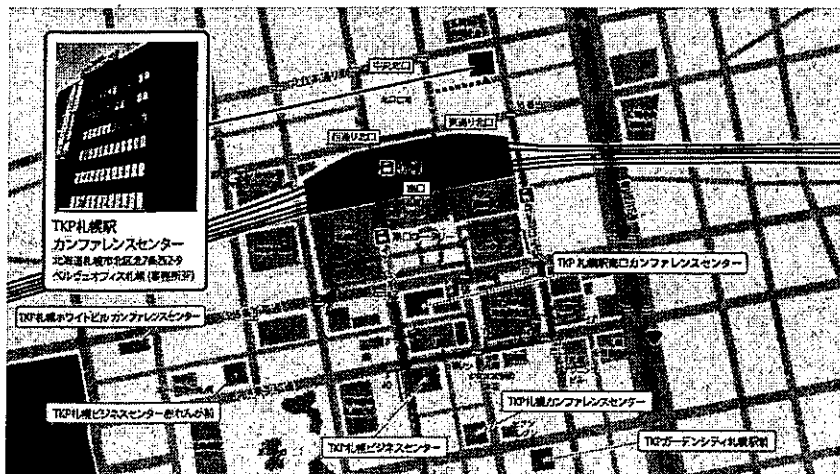
TEL：011-204-5791 (直通) FAX：011-232-1126

E-Mail：sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

<ホームページ> <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/shuuraku/kouryutaikai01.htm>



会場アクセス



TKP札幌駅カンファレンスセンター
(札幌市北区北7条西2丁目9)

<最寄駅>

○JR札幌駅 北口 徒歩2分

※TKP札幌カンファレンスセンターとは別会場ですので、ご注意ください。

1月21日(火)の行事



ウポポイ
NATIONAL AGRICULTURE and FORESTRY MUSEUM
民族共生象徴空間

北海道庁老朽に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 1月17日(金) 14時00分

発表項目 (行事名)	令和元年度北海道産業貢献賞表彰伝達式について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和元年度北海道産業貢献賞(水産関係)の表彰伝達式を次のとおり開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 受賞者: 飛島 弦二(とびしま つるじ)氏 (水産団体等功労者(海区漁業調整委員等功労者))</p> <p>2 日時: 令和2年1月21日(火) 14:00~</p> <p>3 場所: 新星マリン漁業協同組合</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	管内受賞者のPRのため積極的な報道をお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	留萌振興局産業振興部水産課(担当者:水産課長 金子) TEL ダイヤルイン 0164-42-8469(内線:2611)		
-------------	--	--	--

令和元年度北海道産業貢献賞 ～ 水産局関係

区分	表彰の対象	市(区)町村名	ふりがな 氏名又は団体	業績の概要	備考
水産業関係 功労者	水産団体等功労者 (海区漁業調整委員等功 労者)	留萌市	とひしま づるじ 飛島 弦二	平成20年8月から留萌海区漁業調整委員会の委員として就任して以来、今日に至るまで通算10年以上の長きにわたり委員として在籍し、共同漁業権、区画漁業権及び定置漁業権の設定及び各種漁業の調整に際して、豊富な経験、知識を活かした公平・的確な判断により、地域漁業の振興と発展に多大な貢献をされました。これらの功績は顕著であり、高く評価されるところであります。	79歳

1 / 20 (月) の発表

報道発表資料の配付日時 1月20日(月) 15時00分

発表項目 (行事名)	「留萌圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」委員の公募について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道では、障がいのある方の地域での暮らしを支えるサービスや、差別・虐待・権利擁護に関する事などについて協議するため、全道14の圏域に「障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」(以下「地域づくり委員会」という。)を設置しています。</p> <p>このたび、「留萌圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」において、住民の皆様の意見を伺い、ともに考えるため、次のとおり委員を公募しますので、住民の皆様への周知をお願いいたします。</p> <p>1 応募資格 次の要件を全て満たすことが必要です。 (1) 留萌振興局管内に居住する満20歳以上の方〔令和2年4月1日現在〕 (2) 障がい保健福祉に幅広い見識と関心をもち、年数回開催する委員会に出席できる方 ※ 過去に国又は地方公共団体の議員及び職員、道職員であった方も応募できますが、募集締め切り後に他に応募者がいなかった場合に選考対象となります。</p> <p>2 募集する人数 (1) 障がいのある方 1名又は2名 (2) 地域住民 1名又は2名 合計で3名以内</p> <p>3 委員の任期 委嘱の日(令和2年4月1日予定)から2年間</p> <p>4 応募方法 応募に必要な書類(応募用紙及び作文)を留萌振興局あて2月19日(水)までに郵送又は持参してください。</p> <p>5 選考 留萌振興局が設置する選考委員会において、作文及び応募用紙記載内容を総合的に審査の上選考し、結果は応募者全員にお知らせします。</p> <p>6 その他 詳細につきましては、別添「留萌圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会委員公募のお知らせ」を参照してください。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	より多くの方からご応募いただけるよう、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ、各(総合)振興局記者クラブ	

担当(連絡先)	保健環境部社会福祉課 (担当: 課長 金田 一秀・主査(地域福祉) 大宮 有紀) TEL 0164-42-8317 (内線 3814)		
---------	--	--	--

留萌圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会委員公募のお知らせ

北海道では、障がいのある方の地域での暮らしを支えるサービスや、差別・虐待・権利擁護に関することなどについて協議するため、全道14の圏域に「障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」(以下「地域づくり委員会」という。)を設置しています。

このたび、地域づくり委員会において、道民の皆様の見解を伺い、ともに考えるため、次のとおり委員を公募しますので、積極的に御応募ください。

1 応募資格

次の要件を全て満たすことが必要です。

- (1) 留萌振興局管内に居住する満20歳以上の方〔令和2年4月1日現在〕
- (2) 障がい保健福祉に幅広い見識と関心を持ち、年数回開催する委員会に出席できる方
※ 過去に国又は地方公共団体の議員及び職員、道職員であった方も応募できますが、募集締め切り後に他に応募者がいなかった場合に選考対象となります。

2 募集する人数

- (1) 障がいのある方 1名又は2名
- (2) 地域住民 1名又は2名 合計3名以内

3 委員の任期

委嘱の日(令和2年4月1日予定)から2年間

※ 委嘱された方の氏名は公表されます。

4 応募方法

(1) 応募に必要な書類(2種類)

ア 応募用紙(様式1)

イ 作文(様式2)

「障がい者が暮らしやすい地域の実現に向けて」をテーマとして、あなたが考えていることを800字以内にまとめてください。

※ 書類は、点字又は代筆によることもできます。点字による応募の場合は、様式は自由です。

※ 様式1及び2は、北海道保留萌振興局保健環境部社会福祉課で配布しているほか、北海道のホームページでダウンロードできます。(http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/jorei-RO2iinkoubo.htm)

(2) 書類の提出方法

留萌振興局保健環境部社会福祉課あて、令和2年2月19日(水)までに郵送(当日消印有効)又は持参してください。

※ 持参の場合は、平日の9:00~17:00までの間に持参してください。

※ 郵送先は、8を御参照ください。

5 選考

選考委員会において、作文及び応募用紙記載内容を総合的に審査の上、選考します。

選考結果は、3月下旬に応募者全員にお知らせします。

6 委員の役割等

(1) 学識経験者等の委員とともに、障がいのある方の地域での暮らしを支えるサービスや、差別・虐待・権利擁護などに関する課題や申し立てのあった事項について、当事者や参考人などから意見聴取を行い、問題の解決に向けて協議をしていただきます。

(2) 個別の権利侵害等について協議する場合には、委員会は非公開となりますので、委員会内で協議されたことについては、秘密を保持していただくこととなります。

7 報酬等

委員会に出席いただいた場合は、北海道の規定に基づき、報酬及び旅費をお支払いします。

8 郵送先・問い合わせ先

留萌振興局保健環境部社会福祉課

〒077-8585

留萌市住之江町2丁目1番地2 留萌合同庁舎

電話 0164-42-8317

9 所管する市町村

留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町

留萌圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会委員公募のお知らせ

北海道では、障がいのある方の地域での暮らしを支えるサービスや、差別・虐待・権利擁護に関することなどについて協議するため、全道14の圏域に「障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」(以下「地域づくり委員会」という。)を設置しています。

このたび、地域づくり委員会において、道民の皆様の意見を伺い、ともに考えるため、次のとおり委員を公募しますので、積極的に御応募ください。

1 応募資格

次の要件を全て満たすことが必要です。

- 留萌振興局管内に居住する満20歳以上の方〔令和2年4月1日現在〕
 - 障がい保健福祉に幅広い見識と関心を持ち、年数回開催する委員会に出席できる方
- ※ 過去に国又は地方公共団体の議員及び職員、道職員であった方も応募できますが、募集締め切り後に他に応募者がいなかった場合に選考対象となります。

2 募集する人数

障がいのある方 1名又は2名
地域住民 1名又は2名 合計3名以内

3 委員の任期

委嘱の日(令和2年4月1日予定)から2年間

※ 委嘱された方の氏名は公表されます。

4 応募方法

- 応募に必要な書類(2種類)

ア 応募用紙(様式1)

イ 作文(様式2)

「障がい者が暮らしやすい地域の実現に向けて」をテーマとして、あなたが考えていることを800字以内にまとめてください。

※ 書類は、点字又は代筆によることもできます。点字による応募の場合は、様式は自由です。

ようしき およ ほうかいどう るもいしんこうきよく ほけんかんきょうぶしやかいふくしか はいふ
※ 様式1及び2は、北海道留萌振興局保健環境部社会福祉課で配布している
ほかに、北海道のホームページでダウンロードできます。

(<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/jorei-RO2iinkoubo.htm>)

しよるい ていしゆつほうほう
(2) 書類の提出方法

るもいしんこうきよく ほけんかんきょうぶしやかいふくしか れいわ ねん がつ にち すい ゆうそう
留萌振興局保健環境部社会福祉課あて、令和2年2月19日(水)までに郵送
とうじつけいしんゆうこう また じさん
(当日消印有効)又は持参してください。

じさん ばあい へいじつ あいだ じさん
※ 持参の場合は、平日の9:00~17:00までの間に持参してください。

ゆうそうさき ごさんしやう
※ 郵送先は、8を御参照ください。

せんこう
5 選考

せんこういんかい さくぶんおよ おうぼようしきさいないよう そうごうてき しんさ うえ せんこう
選考委員会において、作文及び応募用紙記載内容を総合的に審査の上、選考します。

せんこうけつか がつげじゆん おうぼしやぜんいん し
選考結果は、3月下旬に応募者全員にお知らせします。

いいん やくわりとう
6 委員の役割等

がくしきけいけんしやとう いいん しょう かた ちいき く ささ
(1) 学識経験者等の委員とともに、障がいのある方の地域での暮らしを支えるサービスや、
さべつ ぎやくたい けんりようご かん かだい もう た じこう どうじしや
差別・虐待・権利擁護などに関する課題や申し立てのあった事項について、当事者や
さんこうにん いけんちようしゆ おこな もんだい かいけつ む きようぎ
参考人などから意見聴取を行い、問題の解決に向けて協議をしていただきます。

こべつ けんりしんがいとう きようぎ ばあい いいんかい ひこうかい い
(2) 個別の権利侵害等について協議する場合には、委員会は非公開となりますので、委
いんかいない きようぎ ひみつ ほし
員会内で協議されたことについては、秘密を保持していただくこととなります。

ほうしゅうとう
7 報酬等

いいんかい しゅっせき ばあい ほうかいどう きてい もと ほうしゅうおよ りよひ しはら
委員会に出席いただいた場合は、北海道の規定に基づき、報酬及び旅費をお支払い
します。

ゆうそうさき と あ さき
8 郵送先・問い合わせ先

るもいしんこうきよく ほけんかんきょうぶしやかいふくしか
留萌振興局保健環境部社会福祉課

〒077-8585

るもいしずみのえちよう ちようめ ばんち るもいごうどうちようしや
留萌市住之江町2丁目1番地2留萌合同庁舎

でんわ

電話 0164-42-8317

しよかん しちようぞん
9 所管する市町村

るもいし ましけちよう おびらちよう とままえちよう はぼろちよう しよさんべつむら えんべつちよう てしおちよう
留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町

(様式1)

障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会委員 応募用紙

(ふりがな) 応募者 氏名	()	生年月日 (R02.4.1現 在の年齢)	昭和・平成 年 月 日 (歳)
		性別	男性 ・ 女性
応募区分 (該当するものに○)	・ 障がい者 (身体障がい・知的障がい・精神障がい・発達障がい・高次脳機能障がい・難病等) ・ 地域住民		
現住所 連絡先	(〒 -)		
	電話 () -	FAX () - E-mail	
応募の動機を簡潔に記載してください。			
保健福祉に関わる活動や障がい者への関わりなどを行った経験がありましたら、 期間と内容等を記入してください。			
年～年	内 容 等		
これまでの主な職歴を簡単に記入してください。			
年～年	内 容 等		

代筆者氏名 _____

(様式1)

障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会委員 応募用紙

(ふりがな) 応募者 氏名	()	生年月日 (R02.4.1 現在の年齢)	昭和・平成 年 月 日 (歳)
		性別	男性・女性
応募区分 (該当するものに○)	・障がい者 (身体障がい・知的障がい・精神障がい・発達障がい・高次脳機能障がい・ 難病等) ・地域住民		
現住所 連絡先	(〒)		
	電話 ()	-	
	FAX ()	-	
	E-mail		
応募の動機を簡潔に記載してください。			
保健福祉に関わる活動や障がい者への関わりなどを行った経験がありましたら、 期間と内容等を記入してください。			
年～年	内容等		
これまでの主な職歴を簡単に記入してください。			
年～年	内容等		

代筆者氏名

1 / 28 (火) の行事

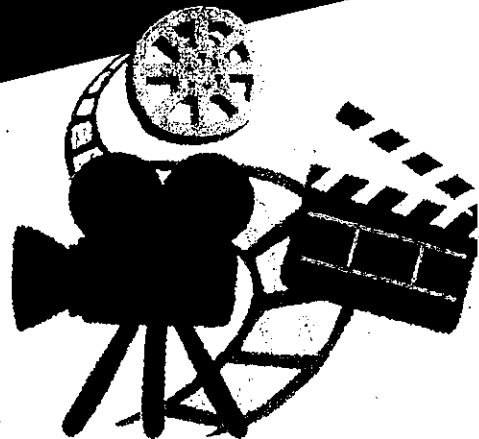
報道発表資料の配付日時 1月21日(火) 14時00分

発表項目 (行事名)	「第1回留萌カルチャーサロン」の開催について		
記者リチャ- のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>留萌管内の皆様へ、留萌地域の文化についての映像をご覧いただき、地域文化への関心を深めていただくため、第1回留萌カルチャーサロンを次のとおり実施します。</p> <p>(1) 日時 令和2年(2020年)1月28日(火) 12時15分~12時45分 (2) 場所 留萌合同庁舎1階道民ホール (留萌市住之江町2丁目1番2)</p> <p>(3) 上映作品 「よみがえる文化の拠点~市民パワーで5周年~」 (留萌市在住の有沢準一氏の作品。北海道映像コンテスト2017アマチュア部門最優秀賞受賞。上映時間約20分) 留萌市に三省堂書店を誘致し、その後も支援活動を続けている市民有志の皆様の活動を映像化したものです。</p> <p>(4) 参加費 無料 ※事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。</p> <p>(5) 同時開催予定 ・三省堂書店による関連書籍の移動販売(1階ロビー) ・毎月第4火曜日に実施されるエソシカ弁当の販売(1階売店セラーズ)</p> <p>※ 詳細については、別添の資料をご覧ください。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	○ 当日は、多くの住民の皆様へ上映をご覧いただきたいので、積極的な報道をよろしくお願いいたします。
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク

担当 (連絡先)	留萌振興局保健環境部環境生活課(課長:遠藤、担当者:山田) TEL ダイヤルイン 0164-42-8430 内線2964
-------------	---

参加無料!



2020年1月28日(火)

12:15~12:45

<上映作品>

「よみがえる文化の拠点～市民パワーで5周年～」

留萌市在住の有沢準一氏の作品。北海道映像コンテスト2017アマチュア部門最優秀賞。
平成22年に留萌最後の書店が閉店。これに危機感を持った市民有志のみなさんが誘致活動を行い、平成23年に三省堂書店留萌店が開店しました。メンバーはその後「三省堂書店を応援し隊」として留萌管内唯一の本格書店の火を消さぬよう支援活動を続けており、その様子を映像化しました。
なお、「三省堂書店を応援し隊」は平成29年度北海道文化選奨特別賞を受賞しています。

*** 有沢準一氏略歴 ***

沖見小学校、増毛中学校元校長。退職を機に映像撮影を始め、東京ビデオフェスティバル、北海道映像コンテストなどの著名なコンテストで受賞するなど、活動は広く評価されている。

<会場> 留萌合同庁舎1階道民ホール

三省堂書店の移動販売をおこないます



当日は12時から13時まで、三省堂書店による今回上映作品の関連書籍の移動販売も、道民ホールにて予定されています。市民の皆さんの書店振興に向けたこれまでの努力をご覧になると、新たな目で本に接することができるのではないのでしょうか。

エゾシカ弁当を販売します

シカの日

毎月第4火曜日はシカの日です！振興局1階の売店「セラーズ」でエゾシカ肉を使った弁当が販売されます。ご希望の方は、セラーズに事前予約をお願いいたします。

<お問い合わせ>

留萌振興局 環境生活課 道民生活係 0164-42-8430